

令和元年度

「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」

大阪市立中大淀幼稚園

令和元年 11 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 家庭で大切に育てられ穏やかで人懐っこい子が多いが、言葉で自分の気持ちを表現する経験に乏しく、新しい活動には消極的で環境の変化で不安定になる姿が見られる。園生活の中で就学前教育カリキュラムの「知・徳・体」をバランスよく取り入れた活動を行い、子どもたちが主体的に楽しんで遊ぶ中で自己肯定感を育てる。
- 併設する大淀小学校との幼小連携、大淀保育所が対面にある立地条件を生かした幼保交流、近隣の大淀中学校との交流が本園の特色である。未就園児や地域の人とのかかわりの機会も多い。いろいろな人とふれあう中で周りの人に対する愛情や思いやりの気持ちを育てる。また併設小学校との交流活動を通して、就学への期待感を高める。
- 子育てに対しての保護者の関心は比較的高い地域ではあるが、各家庭様々で入園前の個人差も大きい。一人一人の実態に合わせた指導と、子どもたちの健康な体づくりのための基本的生活習慣の自立と食育の大切さを啓発する。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「お子さんは幼稚園や家庭・地域などで非常災害が起こった時、自分の身を守る方法を知っていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」「幼稚園は地域の様々な人とかかわりの機会を設け、いろいろな年代の人と触れ合うことができているか」「子どもは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分かりやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「お子さんは正しい生活習慣（うがい・手洗い・早寝、早起きなど）が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・令和2年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

学校園の年度目標

- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を身につくことができますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな人と触れ合うことができますか」「子どもは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組みを分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「お子さんは基本的な生活習慣が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。
- ・令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立中大淀幼稚園 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を身につけていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな人と触れ合うことができていますか」「子どもは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>非常災害時に自分の身を守るための避難の方法を身につけ、命の大切さに気づく保育を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 立案した年間計画に基づいて訓練を実施する。 年10回 併設小学校との合同避難訓練、合同研修を実施する。 年3回 関係諸機関や家庭と連携し避難訓練を実践する。 年2回 	B
<p>取組内容②【施策2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>異年齢交流保育や地域の方とのふれあい、様々な人とのかかわりを深める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 異年齢交流保育を実施する。 週1回以上 様々な人との交流活動を実施する。 年12回以上 	B

<p>・あいさつ隊とあいさつに関する取組を実施する。</p> <p style="text-align: right;">学期 1 回</p>	
<p>取組内容③【施策 2、道徳心・社会性の育成】 小学校就学に向けて、なめらかな接続のための幼小連携に努める。</p> <p>指標 ・幼小交流の年間計画を作成し、交流活動を実施する。 各学年 1 回以上 ・教職員が小学校教育に理解できるように合同研修や打ち合わせを実施する。 年 5 回</p>	B
<p>取組内容④【施策 3、地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 園の保育内容や取組を分かりやすく保護者・地域に発信し、園生活の中で育つ子どもの成長を伝え子育て支援につなげる。</p> <p>指標 ・毎月クラスだよりを発行する。 月 1 回 ・パワーポイントや写真掲示を使って園の取組を知らせる。 年 5 回 ・ホームページの更新を行う。 月 3 回以上</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月のアンケート調査「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を意識することができていますか」の項目について、肯定的評価が 89%だった。 ・ 年間計画に基づいて計画通り行っている。また、実施後、職員で話し合い、改善点など共通理解をしたうえで次の訓練にいかしている。また、子どもには訓練後に振り返りを行い「お・は・し・も」の視覚カードを使って指導をしたり、クラスでも絵本や紙芝居を使っての指導を行ったりすることで、少しずつ避難の方法を身につけている。 ・ 9 月 5 日の「大阪 880 万人訓練」予定日に避難訓練を幼小合同で行った。放送を聞き、小学校に避難することや、津波に対する避難の仕方を教職員や子どももあらためて意識する機会となった。また、小学生の避難する姿を見ることで、子どもが素早く避難することの大切さを学んでいる。 ・ 訓練時に園内で活動していた保護者には一緒に避難訓練に参加してもらうことで、訓練の時の子どもの様子や幼稚園での避難の仕方を知ってもらう機会につながった。また、避難訓練の様子をホームページに掲載したり、パワーポイントを使い訓練の様子を知らせたりすることで家庭でも防犯・防災について啓発することができた。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月のアンケート調査「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の方と触れ合うことができていますか」の項目は、肯定的評価が 95%、「お子さんは、年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」肯定的評価が 88%であった。 ・ クラス間の交流活動は週 1 回以上行った。4 月は、5 歳児が 4 歳児の朝の準備や弁当の準備等を手伝う機会や集会の時間を設け、一緒に活動する楽しさを感じながら、交流することができるようにした。園外保育の際には、一緒に歩く友達に親しみの気持ちが膨らむように事前にペア活動を行った。5 歳児は、4 歳児に接する中で、優しさや思いやりの気持ちをもって関わろうとする 	

姿が見られるようになってきた。4歳児は、5歳児の姿に憧れ、刺激を受け、同じ遊びをやってみようとする姿が見られた。

- ・保育所との交流は1学期に1回（顔合わせ）行った。中学校との交流は2回〈大淀中学校職業体験1回（2日間）・大淀中学校ふれあい交流1回（3日間）〉行った。事前に職員間で打ち合わせを重ね、共通理解のもと活動を進めたことで、子どもたちが安心して交流する姿につながった。
- ・未就園児3歳児子育て支援活動（たんぽぽクラブ）の子どもたちとも、5歳児は朝の身支度の手伝い等で関わる機会をもった。一緒に歌ったり、体操をしたりする機会も設け、好きな遊びの時間にも関わって遊ぶ姿が見られた。
- ・地域の方との交流として、北区絵本の会の方に絵本の読み聞かせをしていただいたり、運動会で行う盆踊りの指導をしていただいたりした。他にも、年長児が大淀東地区敬老の集いに参加して地域の方に歌を聞いてもらったり、大淀東食事サービスで歌を聞いてもらったりとふれあいを楽しんだりする経験をした。地域の方に温かく接していただいた経験が、子どもたちが進んで様々な人に関わろうとする姿につながっている。
- ・あいさつに関する取組は、1学期に1回行った。朝正門に立ち、「あいさつ隊」のたすきをつけてあいさつを行った。進んであいさつをしたり、友達同士であいさつをしたりする姿が増えた。

取組内容③

- ・9月のアンケート調査「幼稚園は、遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校の連携活動を工夫していますか」の項目は、肯定的評価が99%であった。
- ・小学校との交流は、年間計画に沿って実施し、1学期は5回（ダンス交流・大淀フェスティバル・七夕のつどい・プール見学・プール交流）、2学期は4回（運動会の演技を見せてもらう・運動会の遊びを見せてもらう・みんなで仲良く顔合わせ・音楽会の歌を聴いてもらう）行った。小学生が優しく接してくれたり、活動を見せてくれたりすることで、親しみや憧れの気持ちをもつことにつながった。行事の内容に合わせ、事前活動を設けることが、安心して当日を迎える姿につながっている。事後にも振り返りの時間をもつようにしており、プール交流の後にはお礼の絵をかいて届けた。
- ・交流の前には打ち合わせを行い、子どもの実態に合わせて幼小連携を進めることができるようにした。

取組内容④

- ・9月の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、肯定的評価が99%だった。
- ・毎月のクラスだよりは、その月に子どもが頑張ったことや、できたことを担任がわかりやすく伝えることができる機会となっている。また、その中で教師のねらいや保育の意図に下線を引いたり、太字にしたりすることで保護者にも幼児期の大切さを知ってもらうことができる機会になっている。また、配付するだけではなく、正門にクラスだよりを貼り出すことは、保護者も熱心に見られる姿があり、関心を高めることにつながっている。
- ・毎日の降園時の連絡はその日のクラスの様子を伝え、月末には保育室降園を行い、クラスで

の活動を見てもらったり、伝えたりすることで幼稚園教育に対する理解につながっている。

- ・ 1学期末には保護者に1学期の子どもの様子をパワーポイントで見せ、保育のねらいや意図をわかりやすく伝えた。また、教師が実際に使っている保育案を知らせることで計画的に保育を行い、子どもの成長やねらいを考えた保育内容であることを理解してもらえる機会となった。
- ・ 小学校のホームページに日ごろの幼稚園の様子や園行事の子どもの姿を更新したことで園の保育内容や取組をわかりやすく伝えることができた。また、入園募集や未就園児活動については、適時更新することができた。

今後の改善点

取組内容①

- ・ 今後も年間計画にしたがって計画的に避難訓練を行う。
- ・ 小学校の研修に積極的に参加し、教職員間で共通理解をする。
- ・ 引き続き、避難訓練の大切さをホームページなどで啓発し、保護者も一緒に訓練に参加することができるように計画をする。

取組内容②

- ・ 引き続き、異年齢で関わって遊ぶ楽しさを感じることができるよう、交流の機会をもったり環境の工夫に努めたりする。
- ・ 保育所や地域の方との交流は、引き続き事前に丁寧に打ち合わせを行い、様々な人に関わる経験を積み重ねる。
- ・ 2学期・3学期もあいさつ週間を設ける。また、日頃からあいさつの大切さについて考えることができるような保育の工夫に努める。

取組内容③

- ・ 年間計画に沿って交流を行い、早めに打ち合わせの日程を決める等して、円滑に連携をとる。
- ・ 幼小の円滑な接続に努め、引き継ぎなどを行う。

取組内容④

- ・ 今後も早めに見通しを立て計画通り行う。
- ・ 日々の保育内容や行事に向けた取組など、わかりやすく発信する。

大阪市立中大淀幼稚園 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 令和元年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 令和元年度の保育アンケート調査で、「お子さんは基本的な生活習慣が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 令和元年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上を維持する。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4、全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上】</p> <p>教職員の資質向上を図り、一人一人の子どもの実態を把握し、子どもの興味・関心にあった保育内容や環境の工夫・充実につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育の打ち合わせを実施する。 週1回 就学前教育カリキュラムを活用して環境を伴った週案・日案を立案する。 毎日 園内研究保育や指導要請を実施する。 年6回 	C
<p>取組内容②【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>のびのびと体を動かして遊び、その楽しさを味わう子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間計画に沿って体を動かす内容を取り入れた保育を行う。 年20回以上 体を動かして遊びたいような環境の見直しをする。 月1回 	B
<p>取組内容③【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>自分の体を大切にしようという気持ちをもつことができるように、生活習慣の指導を行</p>	B

う。	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成し、基本的な生活習慣に関する保健指導を行う。 学期 1 回以上 ・教職員が子どもの実態に応じた病気やけが等の対応について研修を行う。 年 3 回 ・清潔調べを実施する。 月 1 回 ・保健指導内容をパワーポイントや掲示などで保護者に知らせる。学期 1 回 	
<p>取組内容④【施策 7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>食べ物に興味関心をもつことができるよう、3色バランスよく食べることの大切さを指導する。</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育だよりを発行する。 学期 1 回 ・朝食チェックシートを配付する。 学期 1 回 ・食育に関する保健指導を行う。 年 3 回 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月のアンケート調査「子どもは、幼稚園へ行くことを楽しんでますか」の項目は肯定的な評価が 94% 「幼稚園の教育内容に満足してますか」の項目は肯定的な評価が 98%であった。 ・週 1 回、クラス担任で保育の打ち合わせを行い次週分の週案を立て、子どもたちの遊びや活動などについて共通理解を図った。 ・就学前教育カリキュラムを活用して、「知」・「徳」・「体」の項目で反省を記入することで1週間の活動を振り返ることができ、環境図を記入することで、年長・年少の活動状況がわかるようにし戸外遊びの環境を整えることができた。 ・個人記録を記入し、特徴や様子などを書き留めておくことで子どもの成長を感じることができた。 ・日案は毎日立案し、次の日の保育に備えることができるよう工夫した。 ・園内研究保育や指導要請を年 6 回行う予定だったが、1 学期は行うことができなかった。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月のアンケート調査「お子さんは様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目は肯定的な評価が 100%であった。 ・定期的に集会活動を行い、年長・年少の交流をもつようにした。ペアを組んでふれあい遊びをしたり、体操をしたりして体を動かす遊びを楽しむことができた。 ・年間計画に基づいて体を動かしたくなるような活動を行っている。また、月 1 回遊びの環境の見直しや子どもにあった遊びの内容を設定するように努めている。 ・行事の後も遊びが継続できるように、保育の工夫や環境設定を行っている。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月のアンケート調査「お子さんは、基本的な生活習慣が身につけていますか」の項目は、肯 	

定的な評価が 99%であった。

- ・年度当初に保健指導年間計画を作成し、1 学期には「生活リズムについて」「衣服の着脱について」「和式トイレの使い方について」の合計 3 回生活習慣に関する保健指導を実施した。
- ・「生活リズムについて」の指導では、朝の準備確認を行い、早寝・早起きの大切さを視覚物を用いて指導を行った。指導後担任と連携を図り「とうえんがんばりカード」を作成、配付し登園時間を守って登園できるように保護者にも協力を呼びかけた。実施した期間は登園時間を守り登園する様子が見られた。
- ・「衣服の着脱について」の指導では、実際に養護教諭が前に立ち、衣服の着脱の方法や、畳み方を知らせたことで子どもの理解につながり、自分で着替えてみようと思う気持ちにつながった。
- ・「和式トイレの使い方について」の指導では、和式トイレの模型を作成し練習できるようにしたことで子どもが興味関心を高め、意欲的に和式トイレを使用する姿につながった。
- ・教職員への研修として、てんかん発作について、緊急時の対応についての内容で研修を実施した。てんかん発作が起こった際の対応を共通理解し、緊急時のそれぞれの対応について再確認を行った。てんかん発作についての理解を深め、緊急時にどのような対応が必要かを職員全体で話し合ったことで、緊急時に必要な対応について再認識することができた。
- ・月 1 回清潔調べを実施した。全体的にハンカチ・ティッシュを所持する子どもは増えていると感じるが、手を洗ったあとにハンカチで拭かないままの子どもや、爪が伸びたままでケガにつながる姿が見受けられるため清潔に関する指導を行う必要がある。
- ・1 学期末の終業式を利用して、保護者向けに 1 学期に実施した保健指導の内容をまとめたパワーポイントを作成した。指導のねらいやその後の子どもの姿について、保護者に知ってもらうことができた。

取組内容④

- ・9 月のアンケート調査「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目は、肯定的な評価が 98%であった。
- ・1 学期に 2 回食育だよりを発行した。梅雨の時期のお弁当づくりのポイントや、朝食チェックシート回収後に朝食の役割についてまとめた内容で作成し配付した。時期に合った内容にしたことで保護者の関心も高まったのではないかと考える。
- ・1 学期に 1 回、朝食チェックシートを配付した。子どもの朝食の摂取状況や、朝食の内容について知ることができたので、今後の食育指導に役立てるようにする。また、回収したシートを園内に掲示し、保護者が見る機会を設けることで、保護者啓発につながった。
- ・1 学期に、「やさしいはきている」をテーマに食育指導を行った。野菜の切れ端を水につけて葉っぱが生長する過程を観察したり、トマトの実から葉っぱが生え、大きくなる様子を観察したりした。実際に子どもの前で野菜を切ったり、子どもがトマトの実を植えたりしたことで、野菜に対する興味関心が高まったと感じた。指導後に保育室前に野菜を置いておいたり、水やりを交代でする機会を作ったりするなど、子どもたちが毎日観察できるような環境の工夫を行った。実際に目で見たり触れたりすることが、興味関心をもつことにつながると感じた。

今後の改善点

取組内容①

- ・引き続き保育の打合せを行い、連携をとりながら保育を進める。
- ・就学前教育カリキュラムを活用し、「知」・「徳」・「体」がバランスよく育つよう保育案を立てる。
- ・計画通り、園内研究保育や指導要請を受け保育の資質向上につなげる。

取組内容②

- ・子どもの興味・関心を広げることができるような環境作りを考え、体を動かす機会につなげるよう工夫する。
- ・年間計画を基に、より体を動かす機会を増やすことができるよう見直しを進める。

取組内容③

- ・今後も年間計画に沿って保健指導を実施するが、園内の子どもの実態や地域における感染症の流行状況などを踏まえて時期に合った指導内容にする。
- ・基本的な生活習慣に関しては、担任との連携や保護者啓発が大切であることから事後指導や保護者への啓発の方法について考える。
- ・子どもたちの興味関心を高め、意欲的に取り組むことができるように視覚物を用いた保健指導を行う。
- ・今後も園内の実態や地域の感染症等の流行状況を踏まえて研修内容を十分に検討し実施する。
- ・今後も月1回の清潔調べを実施するとともに、ハンカチ・ティッシュの使い方や身の回りの清潔についての課題が見受けられるので、指導を行う必要がある。
- ・保護者に保健活動について知ってもらう方法を工夫したり、保護者へ発信する機会を設けたりして保護者の理解や協力を得ることができるようにする。

取組内容④

- ・今後も、時期に合った内容の食育だよりを作成し配付する。園内での食育活動や食育指導の様子なども合わせて掲載することで、保護者への啓発活動をすすめる必要がある。
- ・今後も、朝食チェックシートを配付する。朝食の摂取状況だけでなく、朝食の内容等にも着目できるような工夫が必要である。
- ・食への興味関心を高めるためにも教材や環境の工夫を行い、食育に関する保健指導を行う。